



灰陶カマド



緑釉鶏舎



緑釉ハレとケのキッチンツール



三彩交椅



灰陶加彩四合院  
パティオのある家  
明(16〜17世紀)



緑釉井戸



天然水の水栓  
後漢(1〜2世紀)

緑釉猪圈  
二千年前から  
コンポストトイレ？  
後漢(1〜2世紀)

灰陶井戸  
天然水の水栓  
漢(前2〜後2世紀)



白磁園



屋外パントリー



三彩衣櫃  
デザイン・フアニチャヤ  
明(16〜17世紀)

# あの世でも ハッピーライフ

中国二千年前の住宅設備機器

2025.10.18 - 2026.4.7 (Sat) (Tue)



INAX ライブミュージアム

主催: INAXライブミュージアム 企画: INAXライブミュージアム企画委員会 特別協力: 愛知県陶磁美術館 展示デザイン: +建築設計 田代朋彦 会場グラフィック: 関田浩平



## FOR A HAPPY AFTERLIFE

Miniature Household  
Appliances From  
Ancient Chinaあの世でも  
ハッピーライフ

中国二千年前の住宅設備機器

2025.10.18 (Sat) - 2026.4.7 (Tue)

会場 INAXライブミュージアム「土・どろんこ館」企画展示室

開館時間 10:00am ~ 5:00pm (入館は4:30pmまで)

休館日 水曜日(12/24、2/11は開館)、12/26-1/4

共通入館料 一般: 1000 円、学生: 800 円、中高生: 500 円、  
小学生: 250 円(税込、各種割引あり)

中国古代の墳墓には、家屋、井戸、豚小屋付きのトイレ、カマドや家具など建物や生活用品をかたどった、建築明器と呼ばれる陶製のミニチュア模型が副葬品として埋葬されていました。死者は現世の延長となる世界で生き続けると考えられていたため、来世でも不自由なく幸せに暮らせるようにと、生前の日常にあった、今という住宅設備機器や生活様式などがやきもので再現されたのです。大きさも素材も実際とは異なり実用性は失われていますが、理想の暮らしを祈る思いが表出し、素朴ながらも写実的で生き生きとしています。

本展では、中国・漢代(前3-後3世紀)から明代(14-17世紀)におよぶ愛知県陶磁美術館の明器コレクションに一部当館の収蔵品を加えた約50点を展示します。井戸には水を汲むための釣瓶を引き上げる滑車がつき、カマドの台には魚などの食料品や調理器具が型押しされ、トイレの床には穴が開けられています。建築明器のマストアイテムであるこれらを含め、豊かな来世の暮らしを描いた造形をとおして、中国古代の生活情景に触れながら、秘めたるやきものの魅力に迫ります。

In ancient China, ceramic miniatures of houses, wells, toilets connected to pig sties, hearths, and furniture—known as architectural grave goods—were interred in tombs to accompany the deceased.

In the belief that the dead would live on in a world that was a continuation of the earthly realm, tombs were furnished with ceramic replicas of artifacts and milieus from the world of the living. These included daily items that today we would call household appliances, to allow the deceased to live comfortably and happily in the next world. Since they were different in size and material from the actual items they symbolized, these funerary accessories are not functional, but they are invested with prayers for a utopian afterlife. Their rustic yet realistic expressions are fresh and lively.

This exhibition introduces around 50 examples of grave goods from the Han Dynasty (3rd century BC–3rd century AD) through the Ming Dynasty (14th–17th century) from the collection of the Aichi Prefectural Ceramic Museum, along with some from our own collection. Wells are equipped with pulleys for drawing water buckets, fish and other food and utensils are molded around cooking hearths, and toilets have holes cut into them. Forms depicting a rich afterlife, including these essential household appliances, give us a glimpse into life in ancient China as we explore the charm of pottery invested in them.

写真1~4と、おもて面の写真すべて 所蔵: 愛知県陶磁美術館(茂木計一郎氏寄贈)

写真5 収蔵: INAXライブミュージアム 撮影すべて: 益永研司 フライヤーデザイン: 鯉沼恵一

1《緑釉カマド》  
後漢(1~2世紀)2《灰陶猪圈》  
(豚小屋付きトイレ)  
後漢(1~2世紀)

3《三彩供物》明(16~17世紀)



4《緑釉作坊》(作業場) 後漢(1~2世紀)



5《緑釉井戸》後漢(1~2世紀)

## 講演会 「夢を託したやきもの — 建築明器の世界 —」

講師: 田畑潤(愛知県陶磁美術館 主任学芸員) 日時: 2026年1月31日(土) 14:00~15:30

場所: 講義室(INAXライブミュージアム「世界のタイル博物館」1階) 定員: 30名(先着順)

参加費: 1500 円(税込) ※入館チケットおよび企画展関連冊子付き

※お申込み方法などの詳細については当館ウェブサイトをご覧ください。

<https://livingculture.lixil.com/ilm/>

関連イベント

## アクセス

■ バス 名鉄線「常滑駅」または中部国際空港より  
知多バス「知多半田駅」行き

「INAXライブミュージアム前」下車徒歩2分

■ お車(乗用車・バス駐車場完備)

名鉄線「常滑駅」より約6分

中部国際空港より約10分(「りんくうIC」降りる)

セントレアライン(名古屋方面から)「常滑IC」より約7分

知多半島道路「半田IC」より約15分



## INAXライブミュージアム

〒479-8586 愛知県常滑市奥栄町1-130

TEL: 0569-34-8282 FAX: 0569-34-8283

<https://livingculture.lixil.com/ilm/>INAXライブミュージアムは  
LIXILが運営する  
文化施設です。あいまに  
灰と  
20  
25  
あいまに  
国際芸術祭

連携企画プログラム